

## 学校評価保護者アンケートの結果について

北光幼稚園  
園長 南部一朗

### 1 アンケート結果報告

2021年2月に、北光幼稚園における学校評価アンケートを採らせていただきましたが、その集計結果が出ましたのでご報告させていただきます。今年度のアンケートでは、無記名での返答、回答率80.6%（年長84.6%、年中64.7%、年少100%、満3歳77.8%）の応答をいただきました。

またご家庭での様子やお子さんへの願いについてもご丁寧にご返答いただき、自由記述欄にも多くのご意見をお寄せいただきました。今後、いただいたご意見・ご要望、および職員の自己評価や学校評価委員からの評価を考察し、成果と課題を洗い出し、次年度の園づくりに活かしていきたいと思っております。

#### 【園の方針について：設問1】

園の方針を理解していただくことに関しては「とてもよい」「おおむねよい」合わせて97%と、おおむね理解していただけたと考えます。今年度から学年別のクラスになり、また4、5月の臨時休園が続き、不安な思いを持っておられた方も多かったことと思っております。新型コロナウイルス感染症の影響で懇談会等の集まりを持つことはなかなかできませんでしたが、お便りやホームページでお伝えしたり、担任と保護者の方々がコミュニケーションをとったりすることにより、幼稚園の方針や考えをご理解いただけたことに感謝したいと思います。

#### 【情報発信：設問2、3】

情報発信についても、「お子さんの様子を伝えること」については100%、「園からの情報発信」については98%という高評価をいただきました。前述したように保育参観や懇談会などの行事がなかなか持たない中、個人懇談や担任からのお便り、連絡ノートでお子さんの様子をお伝えしたり、ホームページやブログで日々の保育の様子をご覧いただいたりすることで、幼稚園の活動にご理解をいただけたと考えております。ただ、現在の新型コロナウイルスの状況が、これからも継続するであろうということ considering、情報発信の在り方を考えていきます。

#### 【園の行事：設問4】

コロナ禍の中、例年のような行事を行うことはできませんでした。「お泊り会」は、宿泊をしない「はと組スペシャルデイ」。園庭で全クラス一緒に行っていた「運動会」は、クラスごとの「親子スポーツデイ・ミニ運動会」。「クリスマス礼拝」も日中の保育時間の中で、年長児の保護者の方々の参観で行いました。「はと組スペシャルデイ」と「クリスマス礼拝」は100%、「スポーツデイ・ミニ運動会」は95%と、どの行事も高い評価をいただきました。今後、新型コロナウイルスの影響が続くことを考慮し、行事についても今までと同じように行うことは難しいと考えて、さらなる工夫を行っていきたく考えます。

#### 【クラス（学年）の活動：設問5】

今年度から学年別クラスとなりましたが、4、5月の臨時休園後は分散登園という形での保育のスタートとなりました。今まで経験したことのないスタイルで、不安なこともいろいろとありましたが、子どもたちは新しいクラスにも、分散登園にもすぐに慣れてのびのびと活動を始めることができました。このクラスの活動についても98%と高評価をいただきました。遠足なども一斉にはできなかったものの、クラスごとに歩いたり、幼稚園のバスを利用したりして例年の活動と同じようにすることができました。また、あそびもクラスごとに工夫をし、園の内外で思い切りあそびにひたる子どもたちの姿が見られました。さらに、異年齢でのかかわりについても、朝の活動の時間や午後のあそびの時間などにクラス（学年）の枠を超えてあそぶ様子も見られ、これからもこのようなかかわりを大切にしたいと考えます。

### 【環境：設問 6】

環境についても 100%という高評価をいただきました。ただ、園庭の遊具の老朽化や幼稚園舎についても考えなければならない大きな課題があります。これから北光幼稚園がどのような幼稚園であり続けるのか、長期的な視野を持って、遊具や園庭、園内の環境を整えていきたいと考えています。

### 【子育て支援：設問 7, 8】

預かり保育は 100%の高評価をいただきました。札幌市の委託事業として 6 年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響で、預かり保育を利用される方も一時期は激減しましたが、現在は徐々に回復してきています。

通園バスについても 100%の高評価をいただきました。臨時休園のため、年度初めの通園バス説明会を行うことができず、コース等のことについても周知できないこともありました。新年度は、コース変更の際には、あらかじめお知らせいたします。

### 【職員の対応：設問 9】

これも 98%の高評価をいただきました。コロナ禍の中ではありましたが、個人懇談や連絡帳、電話などで、努めてコミュニケーションをとれるようにしてまいりました。これからも保護者の皆様も気になることがあれば、いつでもお声がけをいただければと思います。

### ～ みなさまからいただいたご意見の一部 ～

- ・コロナ対策をしつつ、子どもをのびのびとあそばせてくださり、またたくさん行事を行ってくださりありがとうございます。いつも親身になり、園に通う子だけでなく、その家族にも優しく接していただき、ありがとうございます。これからもみんなに愛される幼稚園でいてくださるよう願っています。地域にひらかれた園でありますよう願っています。
- ・コロナ禍で、幼稚園行事は例年通りではなかったかもしれませんが、ひとつひとつの行事が思い出に残り、あたたかい雰囲気の中で、子どもたちはキラキラ輝いていました。年長の最後の年も、安心して通わせることが出来ました。ありがとうございました。
- ・昨年度から今年度での変更点がさまざまあり、この 1 年どうなるのか…とと思っているうちに昨年度末と新年度すぐの休園。実質 6 月からのスタートとなり、不安をいろいろな面で感じながら生活がスタートしたように思います。ですが、いろいろ不安に思っていたのは大人たちだけで、子どもたちは新しいクラスでの生活も、コロナ対策で変わった生活様式もすんなり受け入れ、自分たちで先生方と一緒に安心できる居場所をつくっていたように思います。子どもたちのたくましさ、柔軟さもたくさん現場で感じた 1 年でした。
- ・日常の業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策で大変な中いつも変わらず子どもたちに愛情を注ぎ、寄り添っていただきありがとうございます。前と変わらず、毎日楽しそうに幼稚園に行き帰ってくる子どもをみて安心しております。
- ・子どもが毎日笑顔でバスにのり、笑顔で帰ってくる姿をみて、本当に楽しくすごしているんだなと日々嬉しく思っています。覚えてくることも多く、日に日に成長していると実感しています。それは先生方が一生懸命に子どもたちと関わってくれているからだと思います。毎日毎日、本当にありがとうございます。
- ・娘はよくお土産をもって帰ってきます。空き箱、折り紙、紙コップなど工作に必要なものをたっぷり使ってきます。家でやられると、『もったいない』とやめさせてしまいそうなことも、子どもが思うままにやらせてくれるところが素敵です。子どものやりたい気持ちを大切にしてくれていることが伝わってきました。
- ・外で遊べないことが多かったので、園で外遊びにチャレンジさせてもらえて助かりました。汚れた服を持ち帰るたびに、「よかったね！」と話していました。

## ～ ご意見とお答え ～

### 【新型コロナウイルスの対応について】

1. 新型コロナウイルスの対応についてご意見をいただきました。

・冬が始まる前まで、園庭から子どもをお迎えできたのは、とてもありがたかったです。密にならず、さっと帰れるので大変良かったです。冬は玄関でさっと子どもをお迎え出来たら良いのではないかと思います。

・普段マスクを着用しているのはしょうがないと思いますが、外ではしなくてもいいのかなと思いました。苦しそうではないのかなと思いました。

お答え：お迎えについては、密にならずに早く帰れる方法を考えました。冬場は、雪のため園庭からのお迎えが出来ませんが、お迎えの方法については、今後も検討を続けます。また、マスクについては園内では着用を原則としますが、外あそびや行事等の際には場面に応じてはせずこともあります。

### 【行事について】

2. 行事についてご意見をいただきました。

・運動会をしていただいたのは親、子どもの思い出となったのでよかったです。ただ親同士の綱引きなどはいらないので、子どものダンス等に戻していただけるといいのかなと思います。クリスマスページェントも開催していただき、ありがとうございました。

・ミニ運動会、もっと見たかったなあという思いです。ダンスも見たかったです。新型コロナウイルスの対応に今までよりもより忙しくなったと思いますが、いつも通り子どもを通園させて頂くことができ、よかったです。スペシャルデイでは、普段なかなか経験することがない事をしてくださり、とても楽しかったと思います。

・懇談会よりも参観日が多い方が保護者は嬉しいです。前年度は、月一回ほど懇談会などで、幼稚園へ行っている感じがしました。そして、参観できる機会がとても少なくさみしい気もしておりました。保護者は、家では見られない幼稚園で頑張る我が子を直接見たいのです。現在はコロナの影響で、懇談会も保育参観も難しいとはわかっておりますが、感染が落ち着いたら考えてみていただきたいです。

お答え：2021年度も、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら行事を考えなければならないと考えます。運動会についても、そのクラス（学年）の子どもたちの実態やねらいに合わせて競技や内容を考えてまいります。また、懇談会や保育参観についても、一斉に保護者の方々が集まるのは難しいと思いますが、持ち方を工夫しながら、少しでも保護者の皆様に幼稚園の様子をご覧いただくことを考えたいと思います。

### 【情報発信について】

3. 情報の発信についてご意見をいただきました。

・個人懇談で先生としっかりとお話ができるので、連絡ノートはなくして良いと思います。一人一人に幼稚園での様子をたくさん書いてくれるのは、とてもありがたいし、先生の愛を感じるのですが、子どもの様子を伝えるという同じ目的のものなら、どちらか一方で十分だと思います。先生たちの仕事量も見直して負担が減っていけばいいなと思います。

・クラス便りなどのお手紙も月一回くらいで良いと思います。

・連絡事項があれば、マメールをがんがん利用したら良いと思います。

お答え：いろいろな場面で、保護者の方々とコミュニケーションをとることが大切と考えております。今後も必要に応じて、お便り、メール、インターネットで情報の発信をまいります。

### 【保育について】

4. 保育についてのご意見をいただきました。

・年長になったら学習の時間を作ってもらえたらいいなと思います。数字やひらがな練習帳やプリントなどで、お友達と一緒に勉強することで、もっとできるようになりたいと思う気持ちが出てくると思うのです。家庭で個別に勉強するよりもやる気の度合いが違ってくるのではないのでしょうか。

・水曜日の午前保育ってなぜあるのでしょうか？平日は全部午後保育になればいいのにはと思います。

・水曜日も午後保育だったら良かったなと思います。

・来年度から始まる給食制度がうらやましいです。週 3 回くらい給食だったら喜ぶ保護者もいるかもしれませんが。

・行事の際、別室で下の子の託児サービス（料金発生しても良い）があったら良いなと思いました。

お答え：北光幼稚園では、幼児期にしかできないあそびを保育の重点とし、そのあそびを通して自分で考え、自分で判断し、自分で考える「生きる力」を育てていきます。あそびの中で、文字を読みたい、書きたいという子には、その場に合わせて保育者がサポートを行います。

水曜日は、午後を職員の研修や保育の準備のための時間とするために午前保育としておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

2021年度から給食が始まりますが、まずは、週に1回の給食を行って様子を見ていきたいと考えます。

行事の際の託児については、スペースやスタッフ等の関係で難しいと考えます。どうぞ、ご理解をいただきたいと思います。

#### 【通園バスについて】

5. 通園バスについてのご意見をいただきました。

・バスの送迎時間が前期と後期で大きく変わりました。昨年度は一年間変更がなかったので、変える（一時間の違いが出るなら）のであれば、年度始めに「変更の可能性はある」旨、教えていただけたらと思います。急な変更には戸惑ったので…

お答え：2021年度は、基本的には大きな変更は考えておりませんが、転入などでコースや時刻が変更になることもあるかもしれませんが、その場合には、事前にお知らせをいたします。

#### 【PTA、野のゆりについて】

6. PTA、野のゆりの活動についてご意見をいただきました。

・野のゆりは、すてきな文集だと思います。ただ、毎年度末に全園児に購入してもらわなくても良いと思っています。年長さんの卒園時に卒園アルバム内に文集も組み入れて制作すれば、写真もカラーできれいだし、ハードカバーで保管に適していると思います。

・PTAの仕事量が、このまま少ないといいなと思います。たった4人の役員でコロナ前に仕事をこなさなくてはならないと思うから負担でした。いつかコロナ前の仕事量に戻すのなら、役員以外の保護者に「一家庭一役」として仕事を割り振ってほしいです。

お答え：2021年度もコロナ禍での活動となりますが、新しい役員、委員の方々と相談しながら、工夫して活動を進めてまいります。

#### 【その他】

7. 日常生活のことについてご意見をいただきました。

・「規則正しい生活」「バランスのよい食事」「ゲームばかりせず体を動かすあそびを」「子どもとのふれあい」…大切なのはわかっていますが、休日や長期休暇には非常に難しくなります。『ご家庭での対応』という言葉に重圧を感じる毎日でした。

お答え：コロナ禍にあってご家庭での生活も大変なものであったと思います。上記のことは、いずれも子育てには大切なことと考えますが、もしもご負担に思うようなことがあれば、いつでも幼稚園の方にご相談いただきたいと思います。

## 〈2020年度 学校評価委員からのご意見〉

・新型コロナウイルス感染拡大が人間社会の基盤を根底から破壊しかねない危機的な状況におかれ、今まで当たり前だと思っていたことが恵みであったと気づかされたというのが、全般的に保護者の評価の高さの背景にあるように思う。しかし、そればかりではなく、自由記述の中に職員の方々の不断の努力に対する感謝の心が秘められていることを確信することができた。新年度も今の姿勢を大切に、職員一丸となって取り組んでいくことを期待する。

・アンケート回収率が高いレベルであることは、保護者の関心の高さと、期待の大きさを示している。これまで保護者に親身になって答えてきた結果であることに、大いに自信と誇りをもって進まれることを期待する。

・職員の皆さんのコンプライアンスの高さは、見るべきものがあり、その面での研鑽は、十分されていると察することができる。コロナ禍の状況は収束が見通せないが、持久戦を勝ち抜くために、教育に対するモチベーションが枯渇しないための研修も大切にされることを願う。

・世の中が不安に包まれた時、一番に守りたいのは子どもの心だと考えるアンケートの結果から、大人の心配とは裏腹に子どもたちは元気に楽しく園生活を過ごしている様子が伺えた。先生方がいつも以上に大変な努力をされているのだと思う。

・学年別のクラスになったことでの混乱は感じられなかった。また、例年のような行事は出来なかったが、それはあくまで大人の受け止め方に過ぎないと思った。

・保護者から、「年長になったら学習の時間を設けて欲しい」という要望があったが、幼稚園でのいちばんの勉強は、あそびにつきると思う。たのしむ力、みつける力、じぶんで考える力。これがどれだけ大切なことか。しっかりあそべた子はやがて、心のつよい子、たくましい子、ゆたかな子へと成長することと思う。

・コロナ禍で、大変な1年であったが、この様なアンケート結果となったのは、園長、教職員一人ひとりの日々の丁寧な働きがあったからだと考え。保護者からの意見に対する答えも、誠実で、できるだけ具体的に伝えるような内容となっていると思う。

・子どもたちの成長を願い、なるべく日常の遊びの中から多くのことを学び取り、成長してほしいという北光幼稚園らしさを追及し、信念をもちつづけたことが今年の学校評価の結果に結びついたと思った。

・今年度は、大きな体制の変化などがあり、保護者との行き違いなどに先生方も苦悩されたのではと心配していたが、先生方があきらめずに信念を持って続けてこられたことが、きちんと伝わってきたのだと感じた。特に、「子どものことで教職員に相談しやすい」という項目が急上昇していることは、日常でのコミュニケーションから作り上げた信頼関係の賜物であろうと思う。

・「笑顔で」「楽しそうに」毎日帰ってくる子どもの姿、「コロナ禍でも外遊びができた」、「安心して通わせられた」という保護者の方の言葉の数々は、今の息の詰まるような生活の中で、改めて、孤独ではなく幼稚園と一緒に子育てが出来る喜び・感謝・安心を心から感じていることが伝わってきた。

・当たり前のことが当たり前でなかった。お泊り会も運動会もクリスマス礼拝も、できることが当たり前ではなく、とつてもありがたいことなのだということに、多くの親が気づき、感謝と感動を覚えたのかと思う。

・学年別のクラスになっても、給食の日ができて、基本的な子どもを育む理念が変わっていないことがわかり、また、それが今の保護者の方にも受け入れられていることを知って嬉しく思う。

